

テーマ名: 電子制御ディーゼルエンジン再利用促進事業

事業計画の概要:

・電子制御装置をはずすとエンジン単体では始動させることができなくなっている、1995年以降に製造されたディーゼルエンジンの車体への載せ替えなしで始動確認が可能となる始動試験機の製造、販売(国内及び海外)事業。
 ・始動試験機の機能を応用し、電子制御ディーゼルエンジンに取り付けて始動制御できるコントローラーと中古ディーゼルエンジンをセットにした商品の開発を行い、海外への輸出、普及を目指す。

連携参加者:

コア企業: (株)奥野自動車商会(石川県野々市町:中古自動車部品販売卸売業)
連携企業等: ライオンパワー(株)、中間法人日本トラックリファインパーツ協会

連携体の構成

商品の企画、組立・輸出

コア企業:
(株)奥野自動車商会
 ・ディーゼルエンジンについての技術、知識の蓄積に基づいた商品の企画。
 ・中古エンジンへのコントローラーの取り付けと取り付け後の性能検査。
 ・始動試験機及びコントローラー付き中古ディーゼルエンジンの輸出。

中古エンジン仕入、始動試験機販売

中間法人
日本トラックリファインパーツ協会
 ・ネットワークを通じた始動試験機の販売。
 ・同業者ネットワークによる中古ディーゼルエンジンの収集。

始動試験機製造、電子制御コントローラー設計・製造

ライオンパワー(株)
 ・制御・化学分析装置製造のノウハウを結集した始動試験機の製造。
 ・始動試験機の技術を応用したコントローラーの設計・製造。

技術協力
金沢大学
広瀬研究所

連携の特徴

・トラック部品を供給する全国組織による連携体。
 ・コア企業は幾度も他社と大学から技術協力を受け、製造会社と連携し開発に成功。

新事業

・電子制御化されたディーゼルエンジン単体での始動を可能にし、積み替えにかかる作業時間ロスを排除。

市場性

・国内はもとより、海外に輸出されているディーゼルエンジンに対する始動試験機の需要が増大の見込み。
 ・初年度は国内中心に2億円、その後海外含め10億円を計画。

支援予定メニュー

新連携対策補助金(事業化・市場化支援事業)
 新連携融資(中小公庫)
 専門家による
 海外戦略、生産管理に係る支援



始動試験機接続イメージ



始動試験機